

FRC の Web ページ開設について

平成 29 年 8 月 10 日
日本原子力研究開発機構
廃炉国際共同研究センター



福島リサーチカンファレンス (FRC)

福島リサーチカンファレンス(FRC) について

廃炉関連の基礎研究を取り扱う『福島リサーチカンファレンス(FRC)』を福島県で継続的に開催し、廃炉研究関連分野における最高ステータスの会議を開催します。

福島第一原子力発電所(1F)の事故は、1-3号機の3つの原子炉がそれぞれに異なった経路をたどって炉心崩壊から圧力容器損傷にいたるといふ、過去に例を見ない過酷なものとなりました。その廃炉は長期にわたる難事業となることが予想されます。この困難な廃炉作業のリスクを適切に管理するとともに、先端的なツール(ソフトウェアや装置)をタイムリーに現場に届けるために、国内外の様々な分野の科学者、技術者の協力が必要です。そのために、CLADSは内外の専門家の助力を得て、廃炉に必要な特定のテーマを選定して、年に5-6回の国際カンファレンスを開催します。

研究分野の構成例

- ①核種分析、②過酷事故進展解析、③被ばく防護と除染、④遠隔技術、⑤プロジェクト・マネージメント、⑥コンクリート構造物の保全、⑦高食予測と防食、⑧検査技術、⑨補修技術、⑩燃料デブリの物性と処理、⑪放射性廃棄物の処分、⑫臨界管理

当面の開催方針

- 福島部門の国際セミナーをFRCとして、[廃炉基礎研究プラットフォーム](#)事業の中に位置づける。
- 文科省人材育成公募の枠内外の大学、高専、学協会のトピカルなワークショップ等も、提案を受ければFRCの一つとして位置づけ、CLADSとしてプラットフォーム運営会議参加拠点を協力を得つつ企画・運営を支援することも検討する。

開催実績

- [○平成27年度実績](#)
- [○平成28年度実績](#)
- [○平成29年度実績](#)

開催予定

- 燃料デブリの性状把握に関する研究と人材育成カンファレンス
開催日程：平成29年9月5日
開催場所：福島県双葉郡富岡町「学びの森」
- 福島第一原子力発電所の主要コンポーネントの高食予測と緩和に関するカンファレンス（仮題）
Fukushima Research Conference on "Corrosion Prediction and Mitigation for Key Components of Fukushima Daiichi NPP"
開催日程：平成29年11月27日-29日
開催場所：福島県双葉郡富岡町「学びの森」

関連情報

- 次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス (NDEC-2)
https://www.kenkyu.jp/nuclear/training/training_ndec2.html

廃止措置に向けた取り組み

- [廃炉国際共同研究センター >](#)
- [福島県技術開発センター >](#)
- [大熊分析・研究センター >](#)
- [その他の取り組み >](#)
- [廃炉基礎研究プラットフォーム >](#)
- [福島リサーチカンファレンス \(FRC\) >](#)



廃止措置に向けた取り組み DECOMMISSIONING

ホーム > 廃止措置に向けた取り組み > 福島リサーチカンファレンス（FRC）平成28年度実績

福島リサーチカンファレンス（FRC）平成28年度実績

[廃炉に向けた耐放射性センサー及び関連研究に関する国際ワークショップ（R2SRT2016）](#)

開催日程：平成28年4月19日、20日

開催場所：福島県いわき産業創造会館（LATOV）6F 企画展示ホール

[当日資料](#)

[廃炉のための放射線計測研究カンファレンス](#)

開催日程：平成28年8月4～6日

開催場所：福島県楡葉町サイクリングターミナル展望の宿「天神」

[当日資料](#)

[事故廃棄物の安全管理に関する研究カンファレンス（RCWM2016）](#)

開催日程：平成28年11月7日～9日（7日：公開、8日：専門家会合、9日：1F及び楡葉見学）

開催場所：福島県いわき産業創造会館（LATOV）6F 企画展示ホール

[当日資料](#)

廃止措置に向けた取り組み

[廃炉国際共同研究センター](#) >

[楡葉遠隔技術開発センター](#) >

[大熊分析・研究センター](#) >

[その他の取り組み](#) >

[廃炉基盤研究プラットフォーム](#) >

[福島リサーチカンファレンス（FRC）](#) >



事故廃棄物の安全管理に関する研究カンファレンス（RCWM2016）を開催

- [福島リサーチカンファレンス（FRC）](#)
- [廃炉国際共同研究センターの取り組み](#)
- [廃炉国際共同研究センター開所式](#)
- [廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟の安全新棟梁及び起工式を開催](#)
- [廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟の開所式を開催](#)

事故廃棄物の安全管理に関する研究カンファレンス（RCWM2016）を開催

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 廃炉国際共同研究センター（CLADS）では、平成28年11月7日（月）、福島県いわき市いわき産業創造会館（LATOV）において、「事故廃棄物の安全管理に関する研究カンファレンス（RCWM2016）」を開催しました。

廃炉国際共同研究センター（CLADS）では、福島第一原子力発電所の廃止措置の加速化や人材育成に資するため、国内外の研究協力を進めています。

本カンファレンスでは、福島第一原子力発電所事故廃棄物の現状と各国の放射性廃棄物管理に関する経験を有する専門家が会して意見交換を行いました。

はじめに、東京電力ホールディングス小林氏の講演「福島第一原子力発電所の廃止措置で発生する固体廃棄物の管理について」、CLADS 芦田ディビジョン長の講演「CLADS 廃棄物処理処分ディビジョンの活動」が行われ、続いて「欧米の廃棄物管理の経験と福島事故廃棄物への活用」と「大学等における研究活動」の2つのセッションに分けて議論が行われました。さらに、大学生等若手研究者によるポスターセッションも行われ、福島大学、福島工業高等専門学校からの発表がありました。

本カンファレンスでは、8名の国内外の専門家の講演があり、参加者は海外の専門家（9名）及び外部機関等を含め約60名の方々にご参加いただきました。議論を通じて、海外の廃棄物管理の経験と福島第一原子力発電所事故廃棄物への活用のための更なる研究協力の重要性、及び若手研究者の人材育成の重要性が認識されたことは、今後の廃炉研究等を進める上で大きな成果となりました。

（掲載資料）

・ [PROGRAM AND ABSTRACTS](#)



RCWM2016の参加者の集合写真

廃止措置に向けた取り組み

[廃炉国際共同研究センター](#) >

[福島県立技術開発センター](#) >

[大原分析・研究センター](#) >

[その他の取り組み](#) >

[廃炉基礎研究プラットフォーム](#) >

[福島リサーチカンファレンス（FRC）](#) >

明日へ向けて
私たちの取り組み

